

自彊前進

題字 西村直子

NO. 11 令和5年5月30日(火)

新潟大学附属新潟中学校 学校だより

文責 教頭

※ 自彊前進…自ら努め励み、前に進むこと
(校歌3番の文言から)

ときわ体育祭を終えて

令和5年度のときわ体育祭が成功裏に終了しました。何を基準に「成功」と判断するのか?もちろん、ねらいを達成できたか、が大きな判断基準でしょう。

体育祭のスローガンは、『Triangle～トライアングル～挑戦【try】・団結【unity】・尊重と感謝【gratitude】』でした。当日の皆さんの活躍もすごかったのですが、最も象徴的だったのは、全校総ダンスの練習シーンです。前号でも紹介しましたが、連合を越え、教え合う姿があり、どの写真を見ても皆笑顔でした。まさに、「挑戦」「団結」「尊重と感謝」が沢山詰まった素敵な活動でした。

もしも、ときわ体育祭という行事が、「勝つこと」だけを目標としているとするならば、当日勝てなかった連合は、目標を達成できなかったこととなります。決してそんなことはありません。「勝とうと精一杯努力すること」こそが目標なのだと思います。いや、これも目標ではなく、手段なのかもしれません。本当の目標は、皆さん一人一人の『成長』です。今回のときわ体育祭に向け、どの連合も本当に頑張っていました。競技における3年生の全員リレーは歴史に残るデッドヒートでした。あそこに至るまで、各連合精一杯努力していたからこそ、負けないように努力でき、当日あのような感動的な姿を見せることができたのでしょう。

当校では、行事が行われる日を『当日』と言い、その過程である『当日』までにこそねらいを達成する局面が多くあると捉えています。その意味では、『当日』までこそが、『本番』なのです。集団としてだけでなく、個人としても「提出期限を守れなかった」「総下校時刻を守れなかった」「フォロワーとしていい返事ができなかった」等様々な課題があったはずですが、しっかりと振り返り、今後の日常生活に生かしていきましょう。

すでに今週から、次の大きな行事である演劇発表会に向けた準備が始まります。他のクラス、学年は競争する相手ではありません。互いに高め合う最高の仲間です。皆さんの更なる成長を楽しみにしています。皆さん、本当にお疲れさまでした!

